

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
生態系の科学	山本 敦也	講義	2		1,3	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	生態系における生物の個体数、種類数はどのように決まるのか？また、生物間の関係やそのバランスはどのようにして維持されているのか？多くの生物について、この疑問に対する明確な答えは得られていません。本講義では、必要と思われる生物学、生態学の基本的な用語の概説をします。また、様々な環境での生態系の構造について解説を行い、生態系の保全や、人間生活との関わりについて、実際の研究例を交えて紹介します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生態学の基本用語を理解する。 2 生態系の仕組みを理解する。 3 生態系と人間活動との関係について、自分の考えを持ち、述べることができる。 						
回	学習内容						
1	ガイダンス（生態学とは）						
2	進化						
3	個体群						
4	密度効果						
5	生態系						
6	種間競争						
7	多様性						
8	物質循環 1 小規模な物質循環						
9	物質循環 2 地球規模の物質循環						
10	バイオーーム						
11	日本の森林						
12	遷移と更新						
13	生物多様性						
14	人間活動と生態系 1 人間活動						
15	人間活動と生態系 2 持続的な生態系利用						
予習内容 復習内容	予習：講義中に示した参考文献に目を通す。 復習：講義中に示した事例以外の例を調べる。						
教科書	テキストは使用しない。資料を毎回配布する。参考文献は講義中に提示する。						
成績評価	出席時に提出するミニレポート 30%、毎回の課題 70%。 1/3（5回）を超えて欠席した場合、評価の対象になりません。						
実務経験							
その他 特記事項							